

# 伊賀の魅力を生かして 観光を盛り上げよう

～今までの観光事業を生かして～



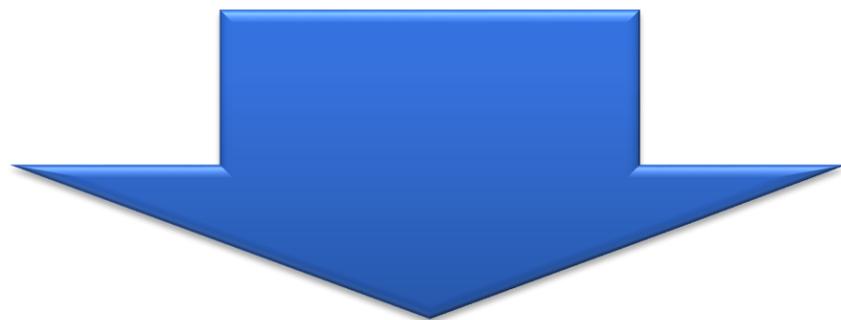
# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p> 	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p> 	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> 	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> 	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> 
<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> 	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p> 	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p><b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b></p> <p>2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です</p>

お金の  
循環

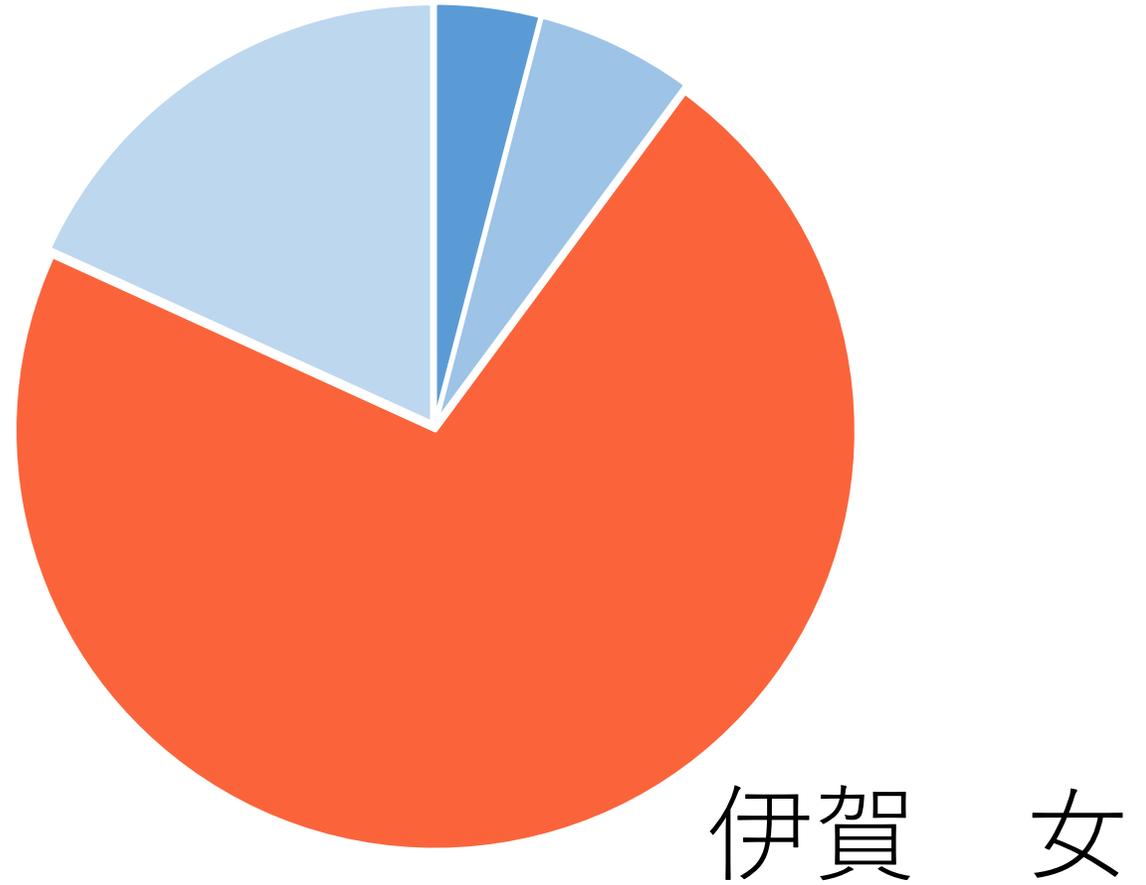
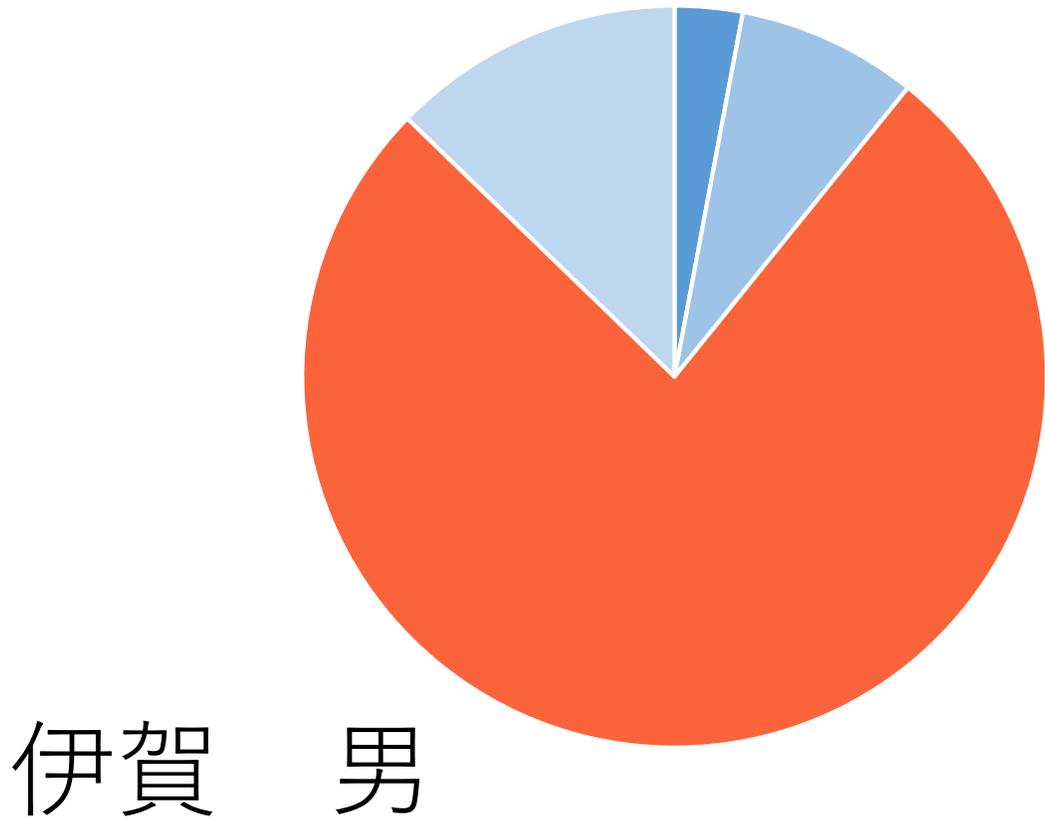
伊賀の魅力を伝  
えるのに適して  
いる



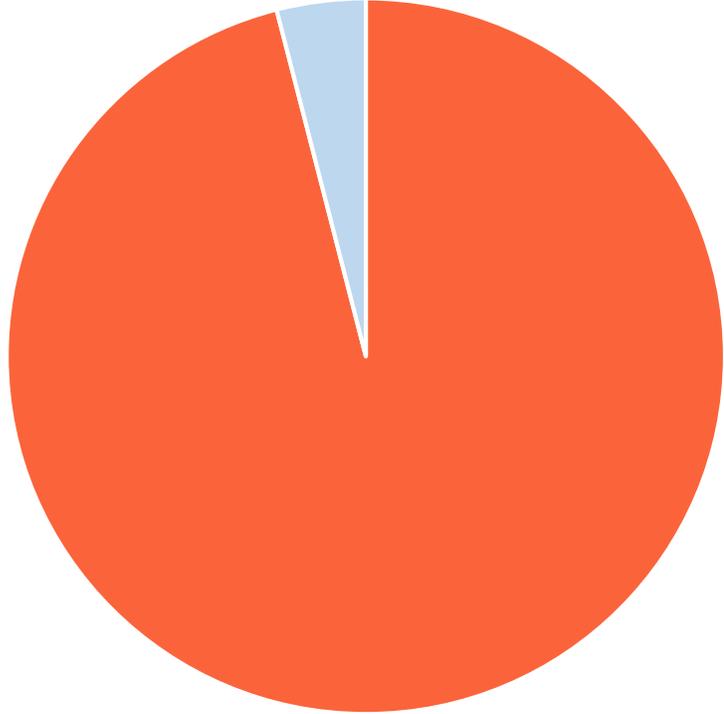
スタンプラリー

IGA  
City

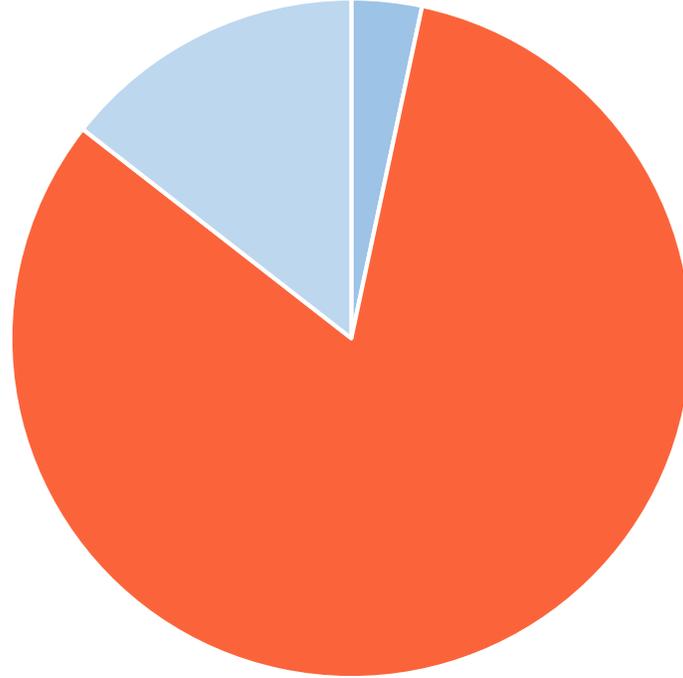
# スタンプラリー参加率



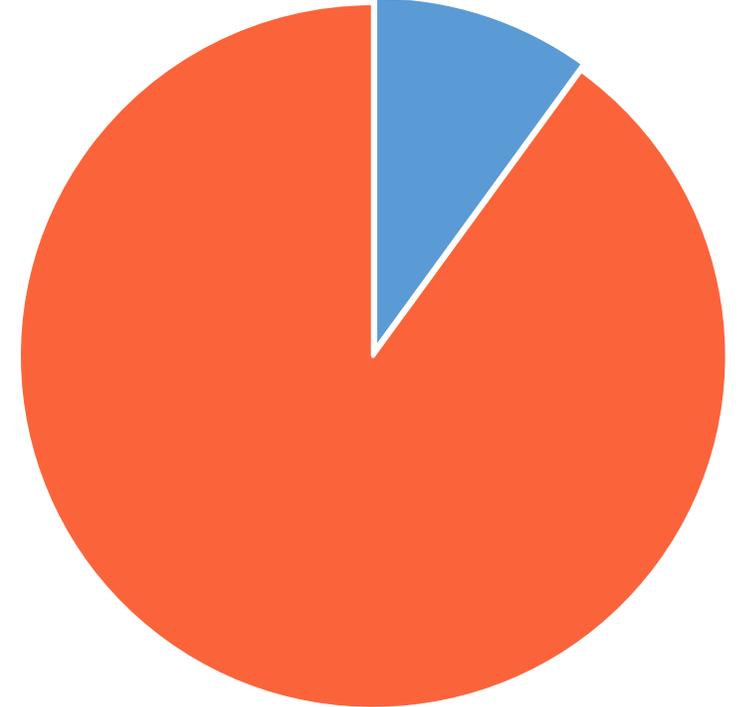
■ 二回以上 ■ 一回 ■ 0回 ■ 覚えていない



名張 男



名張 女



その他

- 二回以上
- 一回
- 覚えていない
- 0回

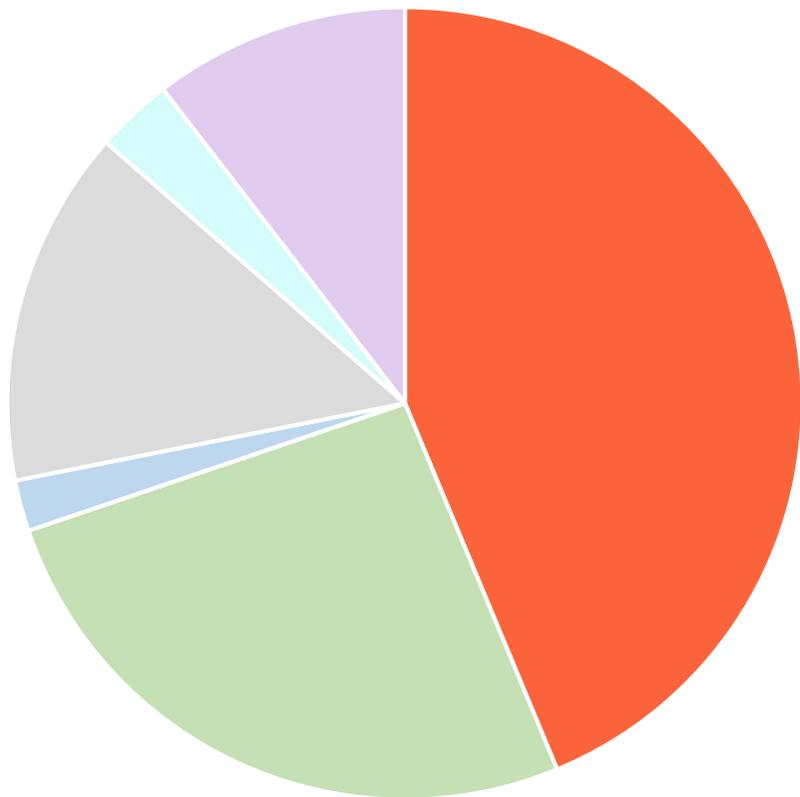
# 参加率のグラフからわかること



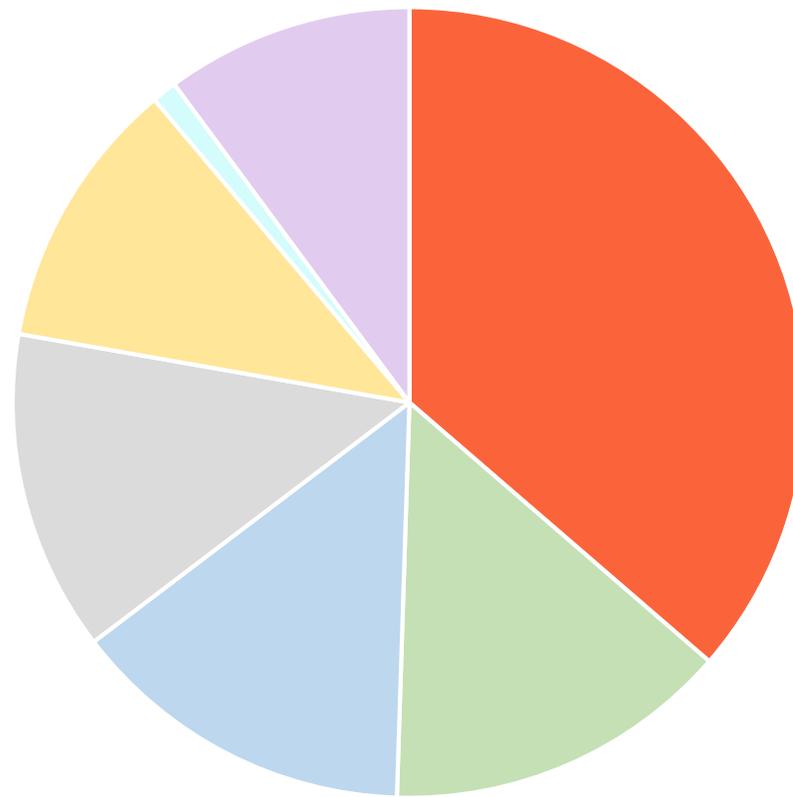
- 全体的に参加率が低い
- 名張の人より伊賀の人の方が参加率が高い

# 伊賀の魅力

伊賀 男

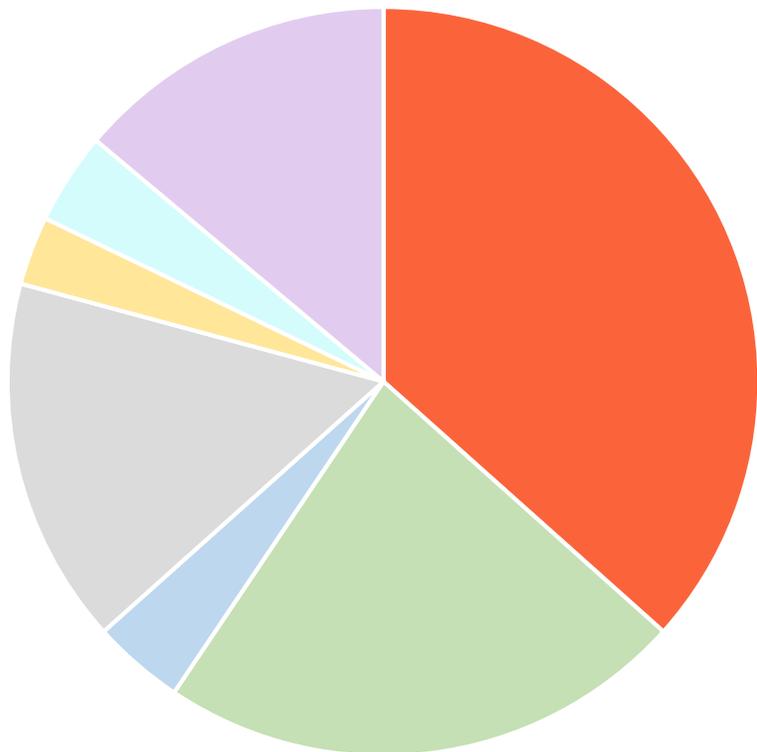


伊賀 女

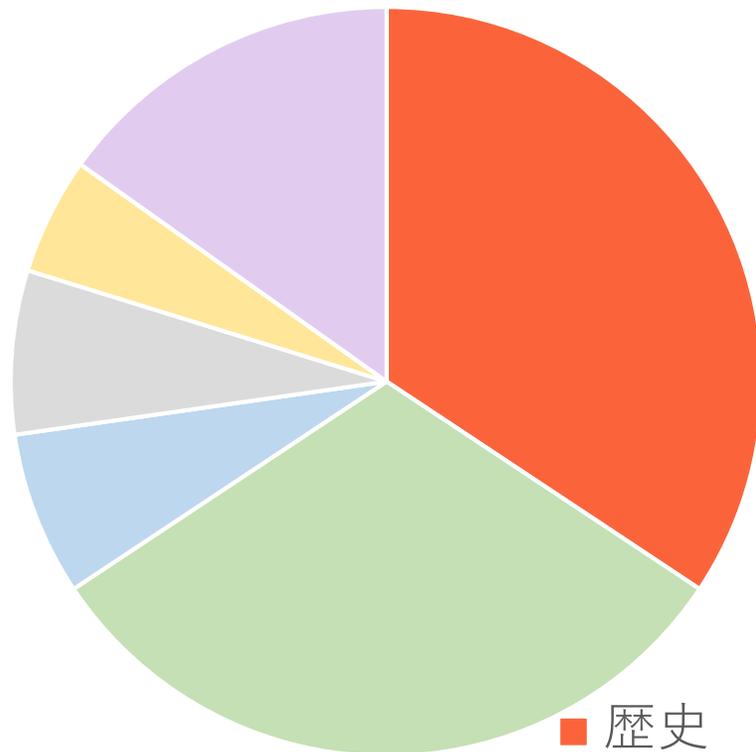


■ 歴史 ■ 建物 ■ 人間関係 ■ 食べ物 ■ 自然 ■ 交通 ■ 未回答

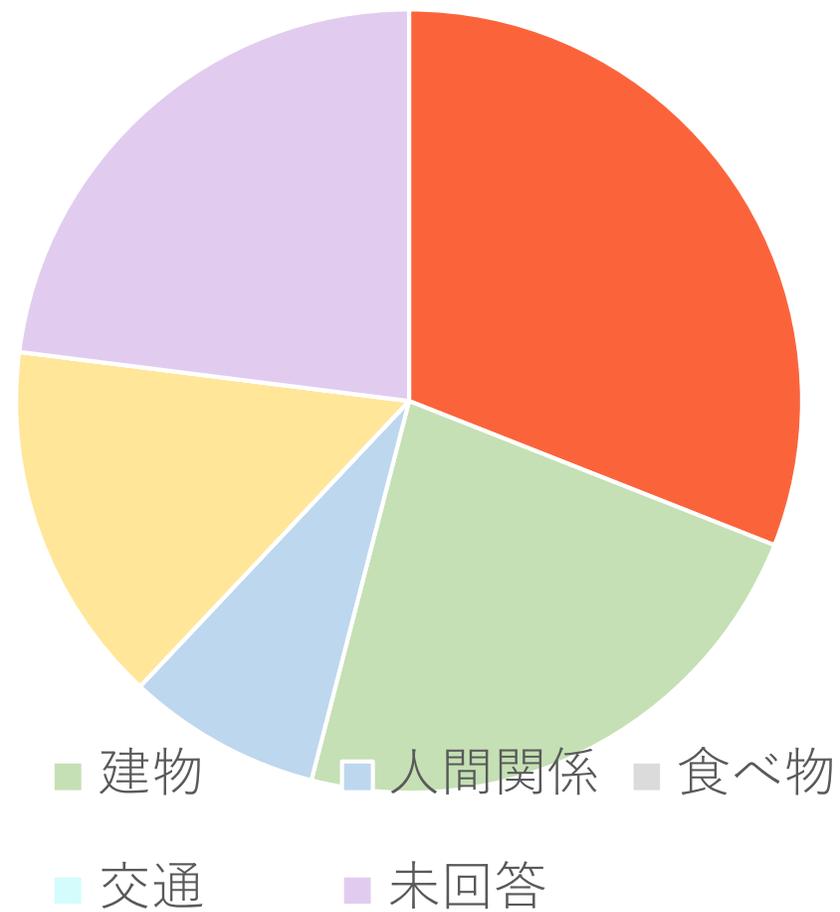
名張 男



名張 女



その他



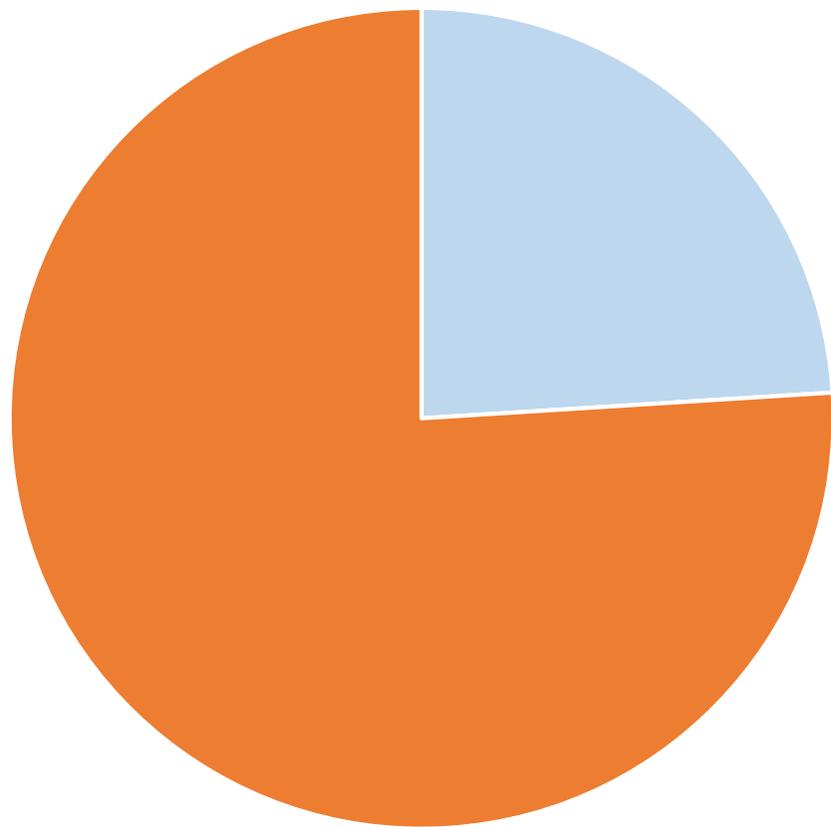
## 伊賀の魅力のグラフからわかること

- 歴史が一番魅力的だと考える人が多い
- 忍者・建物を活用すると人が集まる？

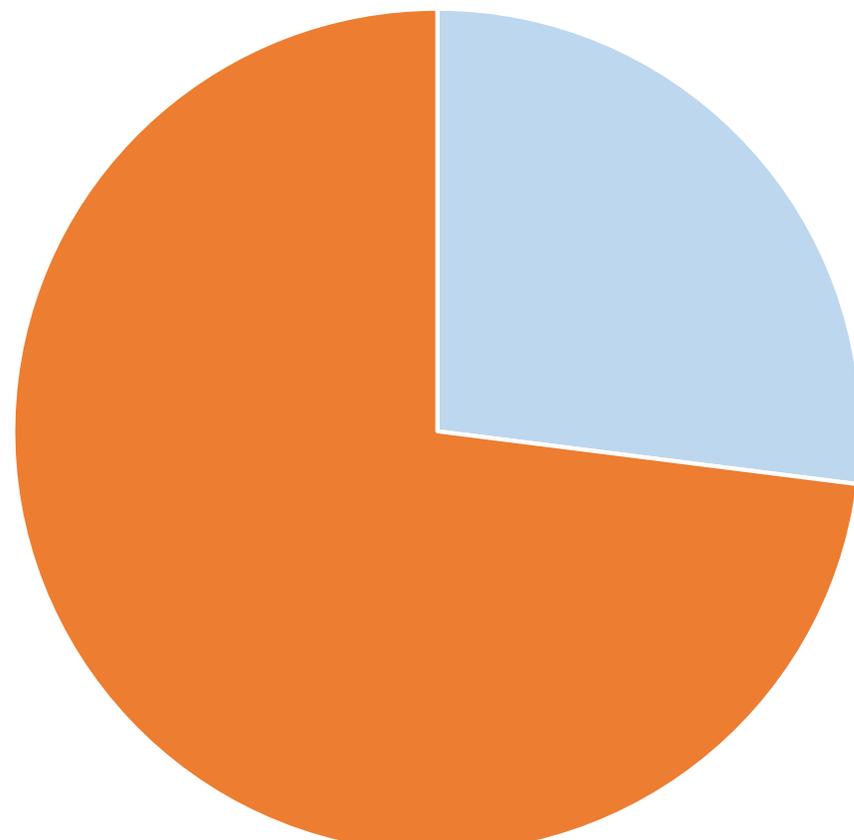


# スタンプラリーに参加したいか

伊賀 男



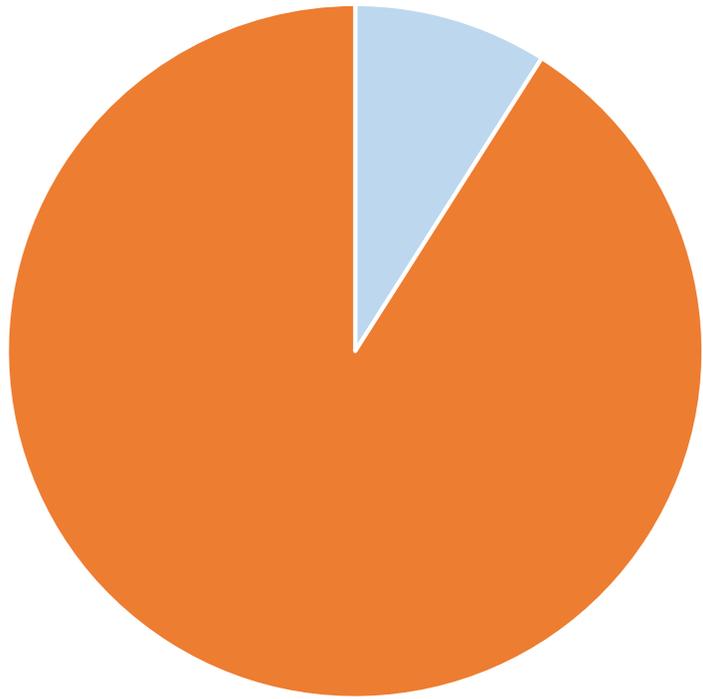
伊賀 女



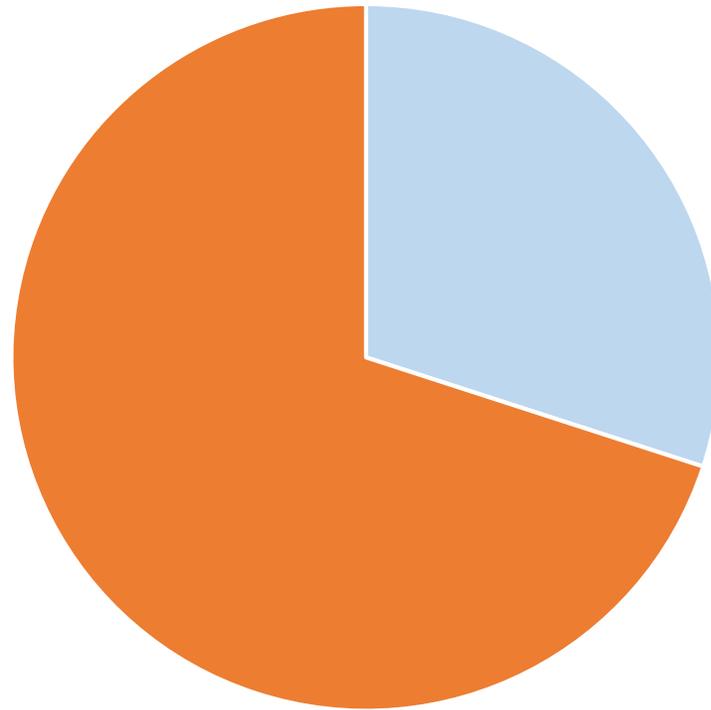
■ はい

■ いいえ

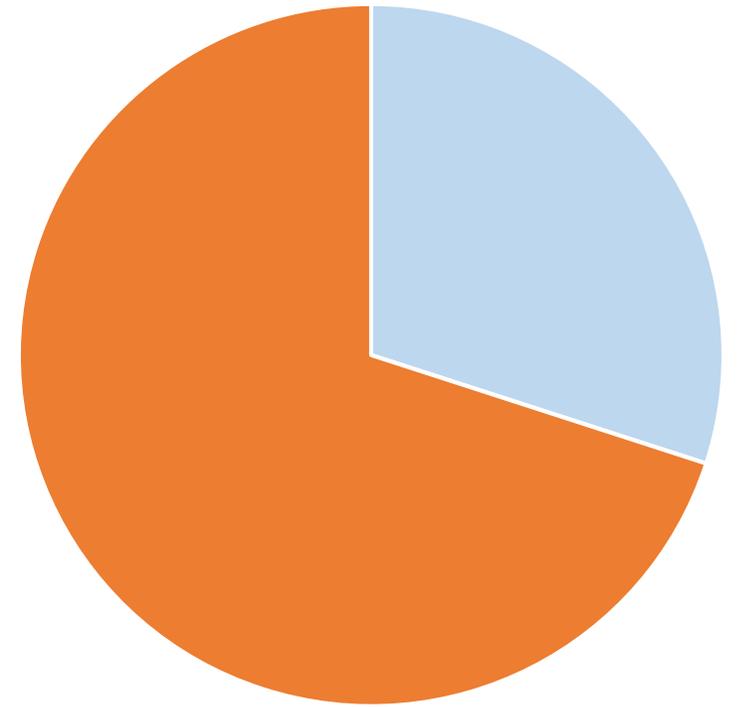
名張 男



名張 女



その他



■ はい ■ いいえ

## ～参加したい理由～

- 新たな発見がある
- 地域の特産品などの景品目当て
- 歴史を詳しく知れる
- 観光がしたい

## ～参加したくない理由～

- 興味がわからない
- スタンプを集めるのが大変そう
- 時間があまりない

**スタンプラリーが  
あることすら  
知らなかった!**

大々的な宣伝をする

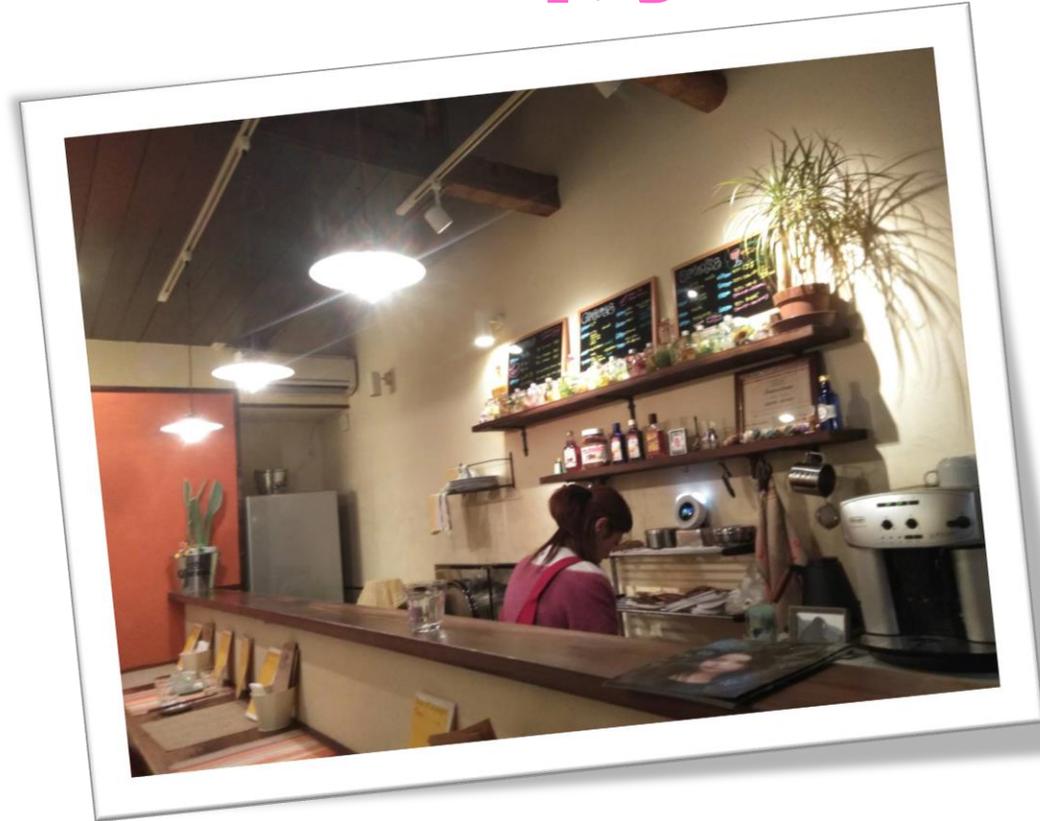


**Twitter**

**Instagram**

等の“SNS”を有効活用

# 市街地にある映えスポットの一例





# SDGs

11. 住み続けられるまちづくりを

観光客が増える



お金がたまる（豊かになる）



新たな事業に挑戦できる！！

# SDGs

## 12. つくる責任つかう責任

映えスポット等を盛り込んだコースをつくる

SNSを利用すれば、多くの人に知ってもらえる

スタンプラリーに参加してくれる人が増える

# まとめ

伊賀市に関心や興味をもつ若者・外国人などをあつめるためスタンプラリーを開催する

そして、大々的にSNSなどを用いて宣言することで効果が現れるのではないかと考える